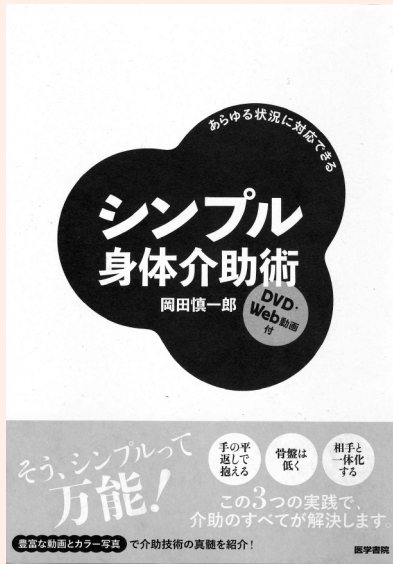
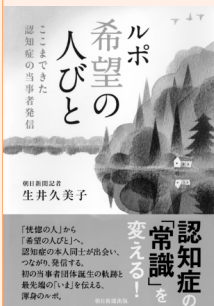




ルポ 希望の人びと ここまできた認知症の当事者発信

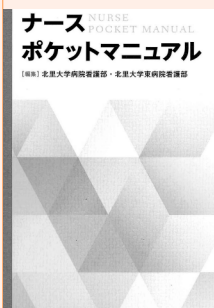
生井久美子＝著
本体 1500 円＋税
朝日新聞出版 ☎ 03-5540-7793



「認知症」への名称変更から13年、小説『恍惚の人』が社会に衝撃を与えてから45年。認知症の当事者の発信する言葉と思いは、病気に対する人々の「常識」を変え、社会を変えようとしている。決して平坦ではなかった道程と、今、「希望の人びと」である彼らを等身大でレポートする。「希望の人びと」の生き方が、これから先の生きやすい社会のあり方に重なるようにと祈りたい。

ナースポケットマニュアル

北里大学病院看護部/北里大学東病院看護部＝編
本体 1500 円＋税
医学書院 ☎ 03-3817-5600



臨床現場で活躍する専門看護師、認定看護師が中心にまとめた本書。看護の視点を盛り込んだ「急変対応」から「検査・薬剤」までの14項目の最新情報を掲載。参照頻度の高いスケールやデータが満載で、とっさの判断が必要な急変や対応経験のない疾患の情報もその場ですぐにチェックできる。

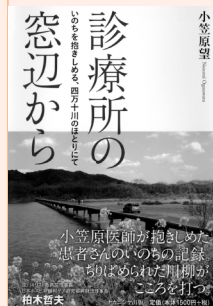
あらゆる状況に対応できる シンプル身体介助術 [DVD・Web 動画付]

岡田慎一郎＝著
本体 2600 円＋税
医学書院 ☎ 03-3817-5600

基礎編で技術のベースとなる「合理的な身体のかかし方」を説明したあと、どんな状況にも対応できる介助技術の原則——「手の平返して抱える」「骨盤は低く」「相手と一体化する」——をシンプルに紹介。実践編では、設定した38の場面を解決するために、3原則がどのように活かされているかを紙面、DVD、Web動画を駆使して詳しく解説する。徹底的に現場主義を貫いた介助技術だからこそ、困難な事例にも柔軟に対応できる。これで介護する人される人、双方が安全・安心・安楽に！

診療所の窓辺から いのちを抱きしめる、四万十川のほとりにて

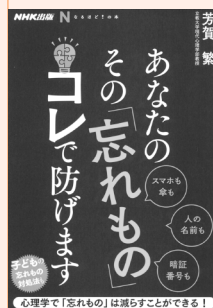
小笠原 望＝著
本体 1500 円＋税
ナカニシヤ出版 ☎ 075-723-0111



四万十川のほとりで診療すること20年。著者はニコニコしながら、いのちとの真剣勝負を続けている。いつも温かなまなざしで患者の話をじっくり聞き、家族にねがいの言葉をかける。外来の常連さんや、訪問診療で向き合う超高齢の患者さんとの掛け合いが、い。「仕舞い」のときにそばにいてほしい、かかりつけ医がここにいる！

あなたのその「忘れもの」 コレで防げます

芳賀 繁＝著
本体 1100 円＋税
NHK 出版 ☎ 0570-000-321



「心理学で『忘れもの』は減らすことができます」がコンセプト。忘れものは記憶の失敗である。本書は忘れものと記憶のメカニズムを解説し、心理学に根ざした忘れものを防ぐ12の法則を提示。シーン別に忘れものの原因と背景、解決策を具体的にわかりやすく教えてくれる。げ・さ・き・め・ては、出かける前の合言葉になりそう！